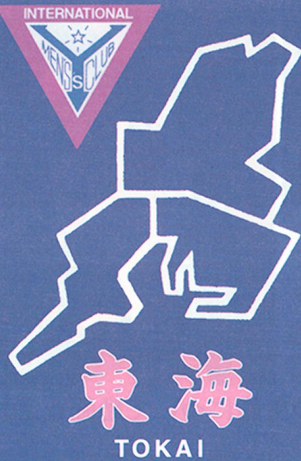




Dream

2012 年 6 月号

Vol.44-12 2012.6.1

Bulletin

会長標語 熱き絆

国際会長主題 「とにかくやろうー成せば成る」

Finn A. Pedersen (ノールウェイ)

アジア地域会長主題 「とにかくやろうー成せば成る」

Wichian Boonmaparjorn (タイ)

西日本区理事主題 「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」

浅岡 徹夫 (近江八幡クラブ)

中部部長主題 「先ず一步 楽しもう、学ぼう、働こう、そしてつなげよう」 長谷川和宏 (名古屋東海クラブ)

クラブ主題 「限りなき熱情を奉仕に」

今月の聖句

ハレルヤ。主に感謝せよ。主はまことにいつくしみ深い。その恵みはとこしえまで。だれが主の大能のわざを語り、そのすべての誉れをふれ知らせることができよう。幸いなことよ。さばきを守り、正義を常に行なう人々は。主よ。あなたが御民を愛されるとき、私を心に留め、あなたの御救いのとき、私を顧みてください。そうすれば、私はあなたに選ばれた者たちのしあわせを見、あなたの国民の喜びを喜びとし、あなたのものである民とともに、誇ることができるでしょう。

詩篇 106 篇 1 節～5 節

強調月間 評価・計画

6月例会ご案内	
◎6月第1例会 日時:6月14日(木)18:45～20:45 会場:ラ・スースANN Tel.052-950-0280 担当:深川 直君 開会宣言・点鐘 柴田洋治郎会長 ワイズソング 5つの信条 鈴木浩之君 報告 食前の感謝 八木武志君 — 会 食 — 卓話:「放送と言葉」 講師:島津靖雄氏 元中部日本放送 アナウンサー アナウンス部長・制作部長 三重支社長などを歴任 メンバースピーチ 菅沼東平君 閉会宣言・点鐘 柴田洋治郎会長	◎6月第2例会 日時:6月21日(木) 19:00～ 会場:名古屋 YMCA クラブ総会準備他 ◎第15回西日本区大会 日時:6月9日(土)～10日(日) 場所:滋賀県立文化産業交流会館(9日) 長浜ロイヤルホテル(懇親会) 長浜文化芸術会館(10日) ◎第45回クラブ総会(裸で語り合う会) 日時:7月7日(土)～8日(日) 場所:内海ホテル・ド・マロニエ 集合:17:00 会費:12,000円、宿泊なし5,000円

5月報告(5月17日現在)

在籍者:正会員21名 広義会員1名 出席者:19名 メネット3名 出席率:95.0%

例会は出席第一、欠席の場合は連絡主事まで連絡を!

強い義務感を持とう、義務はすべての権利に伴う。



会長メッセージ ⑫

会長 柴田 洋治郎

次年度への期待

本稿が私の会長就任中の最後のメッセージとなりました。このメッセージには、ワイズに関すること以外に自分の様々な思いや、経験談も載せてきましたが、これを書くことにより自分なりに考え、頭の中を整理する、良い機会を与えてもらったと思っております。

さて、就任期間中の東海ワイズの活動実績、成果、反省点については、詳しくは 7 月の裸の会の際の報告に譲りますが、残念で、会員皆様にもお詫びしなければならないのは、期間中に 2 名の脱会者を出し、新規入会者もゼロであったことです。自分の力のなさをつくづく感じております。

しかし、各種活動においては、当地の他クラブには負けないものが残されてきたのではないのでしょうか。偏に、皆様と協力し合ってきた結果ですが、今後とも継続することが肝要と思われます。

ワイズメンズクラブが他の奉仕団体と違うのはいに YMCA への奉仕組織ということであり、これが、他の団体と差別化できる大きな特色であると思っています。従って、より一層、YMCA との協調関係を強化することが、ワイズの活動の成果にも繋がることは自明の理と思われるので、今後とも、このことを常に念頭において行動してゆきたいものです。

当会も来月以降は鈴木一弘新会長の下で、新たなスタートを切ることとなりますが、EMC はじめ多くの課題が残されております。幸い、新会長には若さがあり、震災支援については、各種の企画を立案し、自身も現地に赴く等の行動力も備わっております。ただし新会長は仕事も忙しく、他の会員の協力がないと会が回らなくなります。最後に、私の会長標語「熱き絆」をもう一度振り返っていただき、会員全員で新会長を盛り上げ、一致団結することを誓っていただくことを願い、この稿を閉じます。

5月第1例会報告

5月10日

ラ・スースANN

「肺魚のはなし」

講師の古明地広樹（こめいじ・ひろき）さんは小学生の頃、乾いた土くれの中から生きた魚が出てくる映像を見て肺魚に興味を抱くようになられたそうです。大学生の頃から小学校の頃に興味を抱いた肺魚を自宅の水槽で飼い始め、現在も飼育を継続され



ているそうです。その後、青年海外協力隊員として 2 年間、東アフリカのタンザニアに暮らし、当地の高校生に生物教科の指導を行いながら、肺魚の生態について勉強をされました。

肺魚は約 4 億年前のデボン期に現れた魚のうち現在も生きているグループで「肺」、「内鼻孔」、「歯板」を持ち古生物の特徴を現在に伝えていることから進化論で著名なダーウィンは肺魚のことを「生きた化石」と呼びました。（他にシーラカンスがいる）

ハイギョは魚であるものの「肺魚」の名の通り肺を持ち、空気呼吸をします、エラもあるのですが、肺魚の成魚は酸素の取り込みの殆どを肺に頼っています。アフリカ肺魚や南米肺魚は乾期に水が完全に干上がってしまう場所でも、次の雨期まで水のない状態で夏眠して過ごすことが出来ます、成魚が数カ月（実験では数年）にもわたって水の無い状態で生きられるのは魚類ではハイギョだけです。夏眠中は「生きている」ので、当然その肉は腐りません。輸送に水を必要とせず防腐処理も必要はなく、将来の宇宙時代にうってつけの魚かも知れません。

アフリカでは市場で売られていても、日本国内では食用とされることはありません。また「観賞魚」として一般的ではありませんが、全国の熱帯魚店に広く流通しているようです。呼吸、歩行、捕食などの様子がユーモラスなことから、根強い人気のある魚です。

古明地氏は 2008 年の帰国後は、自身の肺魚研究の予備調査のためアフリカ各地の湖沼を訪ねる旅をしておられ、ウェブサイトや小冊子の発行などを通じ肺魚の認知度上昇に努力する傍ら、現在、肺魚の生息地の何れかに活動拠点を設けようと考えているそうです。

例会の最後に私（遠藤）がメンバースピーチをさせて頂きました。（遠藤記）

5月第2例会報告

5月第2例会での決定事項は以下のとおりです。

- ① 6 月例会の卓話は「放送と言葉」講師は元 CBC アナウンサーで元同アナウンス部長島津康雄氏に決定。なお、メンバースピーチは菅沼君が行う。
- ② 西日本区大会の最終登録者は浅野、柴田、杉山夫妻、鈴木（一）、鈴木（孝）、野村夫妻、橋爪夫妻、長谷川、松本夫妻、八木の 14 名。

